

## 情報

## 【解答】

I	問 1	問 2	問 3	問 4	
	c	a	d	c	
II	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	d	b	a	b	c
III	問 1	問 2	問 3	問 4	
	b	d	c	b	
IV	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	b	c	d	b	a
V	問 1	問 2	問 3	問 4	
	c	b	c	c	
VI	問 1	問 2	問 3		
	c	a	c		

## 【学習アドバイス】

本学の入試の試験時間は2科目合計で100分となっており、情報1科目での解答時間は概ね50分である。試験範囲は「情報Ⅰ」で、大問数は6題、各大問には3～5個の設問があり、全問選択肢から解答を選んで答えさせる客観問題形式となっている。

2025年度入試を詳しく見てみよう。大問Ⅰはn進法に関する問題である。2進法から10進法、10進法から2進法への変換や、加算・乗算結果を求める問題が出題されている。大問Ⅱは問題解決のプロセスに関する問題である。「半構造化インタビュー」や「ペルソナ」などやや突っ込んだ内容が出題されている。大問Ⅲはネットワークの仕組みに関する問題である。LANについての知識問題が出題されている。大問Ⅳはアルゴリズムに関する問題である。与えられたマップでの、ロボットへの移動命令および移動結果を解答する問題が出題されている。大問Ⅴは情報とメディアに関する問題である。SNSを利用するにあたってのリテラシーや課題についての問題が出題されている。大問Ⅵはプログラミングに関する問題である。「バブルソート」の実行結果やプログラムの穴埋めなどが出題されている。

入試全体の難易度としては基礎～標準レベルであり、教科書の知識および問題をよく読んで考えることで解答できる問題が大半である。2025年度は前述のとおり大問Ⅱでやや突っ込んだ内容の出題がみられたが、それ以外の問題で得点できれば十分合格ラインには達するだろう。また、試験全体としては知識問題の比重が多く、計算問題も複雑な計算が必要なものではないため、試験時間が足りなくて解答できないということにはならないと思われる。

試験は出題範囲の「情報Ⅰ」から幅広く出題されている。前述のとおり基礎～標準レベルの問題がほとんどなので、対策として、まずは教科書を中心に勉強して知識を蓄えることから始めよう。教科書の索引に掲載されている単語を自分の言葉で説明できるようになることが一つの目安である。また、普段からコンピュータに触れていれば自然と身につく知識も多いので、その点も意識するとよいだろう。さらに、教科書の特性上、時事的な内容・用語に関する内容が出題される可能性もあるので、情報関連のニュースも意識しておくとうい。

知識問題以外ではプログラミングやアルゴリズムに関する出題がみられる。2025年度は「バブルソート」に関する出題があり、有名なアルゴリズムに関しては一通り確認しておくとういだろう。また、プログラムに関する問題は、実際にプログラミングをして実行することで飛躍的に理解が深まる。プログラムの実行環境を整え、有名なアルゴリズムを自分でプログラミングしてみることが有効な対策となるので是非ともチャレンジしてほしい。

最後に演習を積んで、アウトプットの練習をしよう。本学の「情報」の試験は2025年度から開始されたので過去問が1年分しかないが、教科書の章末問題や市販されている情報系の資格試験の教材などを使って繰り返し演習するとよいだろう。